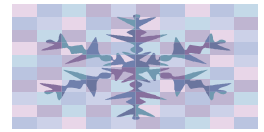


図書館だより

金沢市立朝日小学校図書館
2013年 2月



2月4日は立春、風光る春はすぐそこに

今年の冬は日本中が寒く、北日本は大雪に見舞われています。金沢も気温の低い日が続きました。でも、暦の上ではもう春です。

<節分って?>

季節の分かれ目をいい、立春、立夏、立秋、立冬の前の日のことです。

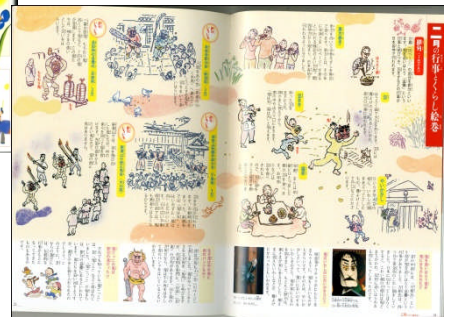
春を待つ気持ちが一番強いので、立春の前の節分だけが、行事として残っています。



子ども歳時記12か月
(講談社)



<「オニ」ってなあに?>
オニは、寒さや病気、災害など人間にわざわいをおよぼすものをいい、恐れられてきました。



2月 おすすめの本

外はまだ冬。でも、春を待つ心はみんな同じです。今月は、詩とその本を紹介します。

はる・はる・はるがきた
せびれに きらめき
ひかりが まぶしく
こおりを すかして

はる・はる・はるがきた
ウロコに ひびいて
おがわをつたわり
ゆきどけの しらせが

ゆきどけ

こぶなようこ

春はちいさき腕をくみ
よめ菜のかげにひそみ居(お)り

雪かきのけて見れば

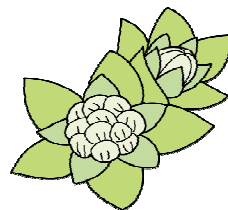
氷柱(つらら)もけさはとけにけり。

見てあれば

室生犀星

氷柱(つらら)

『のはらうたI』より
くどうなおこ



少年少女のための
日本名詩選集
室生犀星
(あすなる書房)

みなさんはどちらの詩が好きですか。

どちらも、小さいけれど確かな春に出会った喜びの伝わる詩です。かまきりりゅうじやこねずみしゅんでおなじみの工藤直子さんの詩は教科書や本でよく見かけますね。

右の室生犀星は、金沢の三文豪の一人ですが、みなさんにとってくどうなおこさんほどなじみがないかもしれません。室生犀星のすばらしさをみなさんの素直な感性で読んでみてください。そして、どれか好きな詩を暗唱できたらいいですね。

